



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月13日

上場会社名 OATアグリオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4979 URL http://www.oat-agrio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 明平
 取締役 (人事部 総務部 経理
 部 情報企画室 経営企画室
 問合せ先責任者 (役職名) 品質保証室 知財・法務室 管 (氏名) 松本 健次 TEL 03-5283-0262
 掌)
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	7,364	25.3	1,239	△31.5	1,217	△30.0	830	△31.1
2018年12月期第1四半期	5,878	10.7	1,809	18.5	1,739	17.4	1,204	19.2

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 603百万円 (△45.2%) 2018年12月期第1四半期 1,099百万円 (11.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	153.49	—
2018年12月期第1四半期	222.61	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	31,970	7,705	22.3	1,315.91
2018年12月期	29,496	7,318	22.9	1,246.52

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 7,121百万円 2018年12月期 6,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,995	50.5	1,869	6.0	1,676	△4.6	1,007	△19.9	186.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理をおこなっておりますので、第2四半期 (累計) の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期1Q	5,536,000株	2018年12月期	5,536,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	123,863株	2018年12月期	123,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期1Q	5,412,152株	2018年12月期1Q	5,412,282株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年3月31日)におけるわが国経済は、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しの動きがみられたものの、米中貿易協議及び今後本格化する日米二国間協定交渉の行方や英国のEU離脱問題等が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

なお、当社グループの第1四半期連結累計期間の業績は、国内農薬事業を中心に需要盛期に備えた出荷が集中するため、売上高及び営業利益等が他の四半期と比較して多額となる傾向にあります。

当期においては、2018年に買収したスペインのLIDA PLANT RESEARCH, S.L.、CAPA ECOSYSTEMS, S.L.及びオランダのChrysal社(Blue Wave Holding B.V.)を連結に取込んだため売上高が増加しました。また海外向けの殺ダニ剤「シフルメトフェン」の出荷時期が第2四半期連結期間へ遅れたこともありましたが、売上高は前年同四半期比で増加しました。一方買収により、子会社の販売管理費やのれんの償却費を連結に取り込んだことや、OATアグリオにおいて研究開発費が増加したことにより、営業利益は前年同四半期比で減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は73億64百万円(前年同四半期比14億86百万円増加、25.3%増)、営業利益は12億39百万円(前年同四半期比5億70百万円減少、同31.5%減)、経常利益は12億17百万円(前年同四半期比5億22百万円減少、同30.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億30百万円(前年同四半期比3億74百万円減少、同31.1%減)となりました。

当社グループはアグリテクノ事業の単一セグメントではありますが、各分野別の経営成績は以下のとおりであります。

農薬分野においては、国内農薬市場の不振により国内向けの出荷量が落ち込みました。海外農薬市場では、海外向け殺虫剤「オンコル」の販売は前年同期比で増加しましたが、海外向け殺ダニ剤「シフルメトフェン」の出荷時期が遅れたために前年同期比で減少したことにより売上高が減少しました。その結果、農薬分野の売上高は42億33百万円(前年同四半期比3億63百万円減少、同7.9%減)となりました。

肥料・バイオスティミュラント分野においては、上述の海外子会社2社の買収により売上高が増加しました。その結果、肥料・バイオスティミュラント分野の売上高は31億31百万円(前年同四半期比18億50百万円増加、同144.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は319億70百万円で、前連結会計年度末に比べ24億74百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加26億85百万円によるものであります。

負債につきましては242億65百万円で、前連結会計年度末に比べ20億87百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加8億32百万円、長期借入金の増加8億10百万円によるものであります。

純資産は77億5百万円で、前連結会計年度末に比べ3億86百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加6億13百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月14日の「2018年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,474	2,460
受取手形及び売掛金	5,135	7,820
商品及び製品	3,629	3,205
仕掛品	552	689
原材料及び貯蔵品	1,469	1,472
その他	663	828
貸倒引当金	△65	△40
流動資産合計	13,859	16,436
固定資産		
有形固定資産	3,219	3,620
無形固定資産		
のれん	10,616	10,044
その他	826	781
無形固定資産合計	11,442	10,825
投資その他の資産	974	1,087
固定資産合計	15,636	15,533
資産合計	29,496	31,970
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,489	3,322
短期借入金	13,782	13,460
未払法人税等	216	523
返品調整引当金	15	16
売上割戻引当金	38	103
賞与引当金	33	131
その他	1,884	1,933
流動負債合計	18,461	19,492
固定負債		
長期借入金	2,860	3,671
退職給付に係る負債	219	237
繰延税金負債	234	179
その他	402	684
固定負債合計	3,716	4,773
負債合計	22,177	24,265

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	461	461
資本剰余金	2,410	2,410
利益剰余金	4,277	4,891
自己株式	△161	△161
株主資本合計	6,987	7,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56	△9
為替換算調整勘定	△166	△447
退職給付に係る調整累計額	△18	△21
繰延ヘッジ損益	—	△1
その他の包括利益累計額合計	△241	△479
非支配株主持分	572	583
純資産合計	7,318	7,705
負債純資産合計	29,496	31,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	5,878	7,364
売上原価	3,002	4,019
売上総利益	2,875	3,345
販売費及び一般管理費	1,065	2,105
営業利益	1,809	1,239
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	0	2
助成金収入	—	8
受取技術料	—	44
その他	2	11
営業外収益合計	8	72
営業外費用		
支払利息	7	82
為替差損	70	12
その他	0	0
営業外費用合計	78	95
経常利益	1,739	1,217
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,739	1,217
法人税、住民税及び事業税	548	451
法人税等調整額	△10	△76
法人税等合計	537	374
四半期純利益	1,201	842
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,204	830

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	1,201	842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	46
為替換算調整勘定	△96	△282
退職給付に係る調整額	1	△2
繰延ヘッジ損益	—	△1
その他の包括利益合計	△102	△239
四半期包括利益	1,099	603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,128	588
非支配株主に係る四半期包括利益	△28	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、IFRS第16号)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用に伴い、連結貸借対照表は、有形固定資産423百万円、流動負債のその他137百万円及び固定負債のその他287百万円が増加しております。

また、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、アグリテクノ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。